

# 薩摩川内 市議会だより

発行 薩摩川内市議会 編集 議会だより編集委員会 〒895-8650 薩摩川内市神田町3番22号 ☎0996-23-5111 (FAX) 0996-23-5015



私たちが踊ったはんやまつり！

## 平成17年第3回定例会

### 平成17年度一般会計補正予算等52議案を可決・同意

- 一般質問16名登壇・・・・・・・・・・・・・・・・P3～P6
- 各常任委員会報告・・・・・・・・・・・・・・P7
- 各特別委員会報告・・・・・・・・・・・・・・P8～P11
- 議案等の審議内容・・・・・・・・・・・・・・P12～P13



# 一 般 質 問

<p>① 種田 弘二郎 議員</p> <p>1 10万5千人都市の本地域と甌島地域間の交流、活性化について 2 今話題になっているアスベスト対策について</p>	<p>⑨ 川添 公貴 議員</p> <p>○ 平成18年度当初予算編成について</p>
<p>② 江口 是彦 議員</p> <p>1 甌島の粗大・不燃ごみ処理について 2 環境衛生（生活排水処理施設）事業について</p>	<p>⑩ 上野 一誠 議員</p> <p>1 権限移譲プログラムについて 2 国指定・史跡「清色城跡」及び国選定「入来麓伝統的建造物群保存地区」の保存・管理計画・整備計画・運営について 3 公立高校再編について</p>
<p>③ 井上 勝博 議員</p> <p>1 下甌への警戒レーダ設置について 2 コミュニティバスについて 3 福祉タクシー及び敬老パスについて 4 亀山幼稚園民間譲渡問題とパブリックコメント制度について</p>	<p>⑪ 初田 健 議員</p> <p>○ スポーツ振興の取り組み方と地域活性化について</p>
<p>④ 福田 俊一郎 議員</p> <p>1 策定された薩摩川内市地域防災計画 2 消防本部新庁舎建設の計画 3 改正介護保険事業についての再質問 4 有料広告の導入による自主財源の涵養</p>	<p>⑫ 橋口 博文 議員</p> <p>1 甌島縦貫道の見通しについて 2 南九州西回り自動車道と川内港の連携について</p>
<p>⑤ 瀬尾 和敬 議員</p> <p>1 本庁機能の分庁化構想について 2 「薩摩川内市生涯学習推進大会」の開催について 3 市内スポーツ少年団の交流について</p>	<p>⑬ 中島 由美子 議員</p> <p>1 次世代育成支援対策地域行動計画について 2 若者のニートの状況及び雇用対策について 3 薩摩川内市における子ども読書活動について</p>
<p>⑥ 福元 光一 議員</p> <p>1 汚泥再生処理センター施設整備に伴う地元対策について 2 市立幼稚園の民営化問題について</p>	<p>⑭ 今塩屋 裕一 議員</p> <p>1 川内川宮里公園の利活用について 2 南九州西回り自動車道の高江インターチェンジから川内川宮里公園までについて</p>
<p>⑦ 江畑 芳幸 議員</p> <p>1 パブリックコメント手続実施要綱に基づく意見公募について 2 安全・安心のまちづくりを目指すために</p>	<p>⑮ 森永 靖子 議員</p> <p>1 女性50人委員会の現状について 2 少子化対策について 3 食育基本法施行に伴い特に学校における食育の推進について</p>
<p>⑧ 鷺山 和平 議員</p> <p>1 航路体系の改善について 2 水産業の振興策について</p>	<p>⑯ 大田黒 博 議員</p> <p>1 高齢者の健康保持、増進対策について 2 小・中学校の安全対策について 3 旧祁答院町大村高校跡地再利活用について</p>

以降に主な質問の内容を紹介します。なお、紙面の都合上、質問項目のうち議員が希望した1項目を掲載してあります。詳しくは会議録をご覧ください

### 今話題になっているアスベスト対策について



種田 弘二郎

質問 毎日のようにアスベストの記事が出ない日がないくらい報道されている。市としても対策連絡会議が設置され調査中ではあるが飛散防止対策に万全を期していただきたい。懸念されるのが旧入来町で一二km、旧東郷町で四km石綿セメント管の水道管が老朽管として残っている。人体に影響があると考えられるがどのような考えをお尋ねいたします。



石綿管の切替工事

答弁 東郷町と入来町の石綿管を今年一、四二〇メートル布設替しても、あと一五、〇〇〇メートル残っており、対策を急がなければ

ならないと思っている。WHO世界保健機構あるいは厚生労働省の見解として、石綿管を流れた水については心配はないが、漏水時等、管の切断時に影響が出るものとされている。今後、管の取扱等について市内の水道関係の施工業者等も含めて、安全対策を講じて参りたい。

### 生活排水処理施設・下水道事業について



江口 是彦

質問①新市における「生活排水処理基本計画」作成の進捗状況と現在抱えている問題点、今後の方針について伺いたい。

②新市のもつで、平成十八年度より考えられていた「手打地区漁業集落環境整備事業」はどのように見直されているのか。甌島は離島振興法の適用もあつて、施設整備は進み、下甌支所管内を残すのみである。今後の計画を示されたい。  
答弁①本市基本計画については、パブリックコメント、環境審議会へ諮問・答申の手続き等を経て決定し、九月一日に告示したところである。本市の向こう十五年間の生活排水量を推計し、適正な生活

排水処理体系を構築するものである。

今後については、費用対効果の面から合併処理浄化槽の設置普及を推進していきたい。

②下水道の整備に係る地区の気運が盛り上がつてこなければ、実施困難と言わざるをえない。漁業集落排水事業については個人負担も出てくるため、行政として地元説明会をし、環境対策の立場から十分理解が得られた段階で対策を講じていく。

### コミュニティバス・福祉タクシーについて



井上 勝博

質問 交通弱者のためのコミュニティバスは、市全域を対象にして低床（ノンステップバスⅡ床面の高さが低くステップがないバス）、小型車・低料金を原則として改善できないか。障害者などが低料金で利用できる戸口から戸口まで運ぶ福祉タクシーを運営できないか。  
答弁 高齢者の方々が昇降を自由にでき、また、住民が利用しやすいものとなるよう検討したい。本年度、公共交通網整備推進事

業に取り組んでコミュニティバスの全体的な見直しを行っているが、早い機会に同事業を予算化し、財政面も考慮しながら低料金で運行できるようなことも考えていきたい。福祉タクシーについては、ジャンボタクシーで効率よく巡回し、木戸口で降ろせるような配慮も必要と感じており、財政面もあるので、検討していきたい。

### 地域防災計画の推進による隈之城尾賀の浸水への対応と防災マップの充実化を図れないか。



福田 俊一郎

質問①地域防災計画と都市計画の両分野で連携して計画的な防災都市づくりを進めていく考えはないか。

②隈之城尾賀地区は台風十四号により冠水したが、浸水を解消するための計画が必要ではないか。  
③防災マップを充実させるためには温泉施設や医療機関の搭載、あるいは消防など「いざというときの連絡先」を記載してほしい。  
答弁①平成十八年度に策定予定の都市計画マスタープランの中で、



地域防災計画に掲載してある災害等の防止対策との整合性を図りながら、住民が安心・安全に生活ができるよう、両面から防災対策を進めていきたい。

②冠水による交通途絶が想定される地区の整備にあたっては、都市計画と防災計画との連携を図りながら整備していきたい。

③防災マップの作成にあたっては、災害時に必要な施設や連絡先も搭載し、マップ一枚で災害時の避難行動がとれるように、内容を充実してまいりたい。

### 「薩摩川内市生涯学習推進大会」開催について



瀬尾 和敬

質問 合併により、旧市町村は文化協会も「薩摩川内市文化協会」として統合された。しかし、旧市町村でしか活動発表の場がない。

一堂に会して文化活動を発表しあうことで、相互の文化を理解できるし、市民としての一体感醸成にも寄与する。「薩摩川内市生涯学習推進大会」開催により文化交流を図るべきだと思うがどうか。  
答弁 各地域九団体には、これまでの文化活動の歴史、伝統等があ

り、一気に一本化し、生涯学習推進大会の中に発表の場を設けることは難しいが、今後、関係機関団体と連携を密にし、協議しながら全市民が鑑賞できるような大会とし、生涯学習推進のまちとなるようにしたい。また、一堂に会し、文化祭も行うとなると、市民文化ホールではなく、サンアリーナで開催することも合わせて検討していきたい。

### 市立幼稚園の民営化問題について



福元 光一

質問 亀山幼稚園に関する意見が寄せられました。今内容を見て市立幼稚園並びに亀山幼稚園の民営化問題についてどのようなお考えとなるのか。亀山幼稚園の民営化問題に対して地域住民との説明会後の意見集約の回答をいつごろ開催される予定なのかお尋ね致します。

答弁 パブリックコメント手続きで寄せられた意見の内容を踏まえ最終的には市政改革本部会議で決定していきたい。教育委員会としては、まず、市の幼稚園二十園について総合的に検討し、民営化に

ついては状況をみながら検討していきたい。また、地域住民に対する説明会は十月以降にしていこうと考えている。



亀山幼稚園

### パブリックコメントを運用しての意見公募について



江畑 芳幸

質問 今回実施された2件の意見募集の情報が市民に十分伝わり、行政の向かう方向が理解されていると思うが、今後、意見募集の方法を改善しないのか。今回多くの意見が寄せられた亀山幼稚園への説明会は、初めから予定されていたか。意見結果で計画書策定時に再考の予定があるか。

答弁 広報紙あるいはホームページを通じ、あるいは商業新聞等の

日刊紙、またマスコミを通じ広く市民に周知している。亀山幼稚園の民営化に関する説明会の経緯については六月十六日の本会議終了後の全員協議会で説明し、その後、園長に説明し、段階を経て職員、PTA会長へも説明をしている。意見募集の方法については、今後、地域住民の周知等検討していきたい。また、寄せられた意見等を参考にしながら市政改革本部会議で決定していくことになる。

### 航路体系の改善について



鷺山 和平

質問 甌島間の交流及び本土と甌島との交流を促進するために、串木野港甌島間の現在の航路体系を確保し、新たに川内港、甌島間に合併特例債等を活用し、現在のシーホークよりひと回り小型の高速船を建造し、甌島商船等に貸付け、運行することにより薩摩川内市の一体感醸成が促進されると思うが、市長の見解を伺いたい。

答弁 公共性、日常生活の交通手段の確保の観点からあるいは市民の一体感醸成といった理論構成ができれば、合併特例債の適債事業

の可能性もなきにしもあらずということである。

また、独立行政法人鉄道建設運輸施設整備支援機構と一緒になり造船すれば、負担割合が軽減できることもわかった。商船会社の経営面あるいは港の条件整備等についても、可能性について積極的に検討したい。

**平成十八年度当初予算編成について**



川添 公貴

質問 国においては、三位一体改革のもと補助金の削減等打ち出し、地方交付税においては二、七%の削減を示している。本市において財源確保は緊急の課題であるが、未だ先の見えない状況であり、十八年度当初予算編成において、十七年度並みの予算編成が確保できるのか伺う。また、財政再建団体になるとどのような状況になるか伺う。

答弁 十八年度は今年以上に厳しい地方財政になっていく。扶助費や公債費など義務的な経費を除いて物件費や補助費等、経常経費についても徹底した見直しが必要と

なる。また、財政再建団体になると投資的経費は大幅削減でなくゼロになる。具体的には、補助金の削減や職員数の削減、増税等半ば強制的に実施され、地域の活力を減退させ、地域経済にも多大な影響を与えることになる。

**公立高校再編について**



上野 一誠

質問 県教委が示した高校再編実施計画で、入来商業と樋脇高校が統廃合の対象となった。突然具体的に再編計画が示されたことは、高校だけの問題ではなく地域に与える影響も大きい。誠に遺憾であり残念なことでもある。方針が示された以上は、真正面から向かい合い、本市が主体性をもち再編問題の解決に努めていかななくてはならない。協議会の設置等も含め市長に見解を伺う。

答弁 入来商業と樋脇高校が適正規模に満たないことは承知しているが、突然の再編ではあり、このことについては、しっかりと受け止め対応したい。

また、十月の早い時期に地元関係者等からなる協議会を設立し、住民、関係者等の要望をしっかりと

と把握し、的確に反映されるようにしたい。

**観光資源としてのスポーツ振興について**



初田 健

質問 阿久根大川尻無地区のバイクトライアル大会や指宿菜の花マラソン大会などのスポーツイベントや奄美、徳之島のようなキャンプ誘致は地元経済の活性化に繋がりが、本市のPR効果も期待できる。

市比野温泉杯サッカー大会は商工会青年部が主体となって二十年続き、規模も年々拡大している。丸山グラウンドを整備し、Jリーグのキャンプ誘致などに活用する考えはないか。



丸山グラウンド

答弁 丸山グラウンドの整備につ

いては、人工芝等の整備を二面にわたり実施すると多額の費用を要する。施設整備を要する場所は他にもあり、どこに重点をおき予算を投下していくべきか慎重に検討し、今後において、スポーツによる交流人口を増やし、地域の活性化につなげていきたい。

**川内隈之城道路水引インターチェンジと高江インターチェンジ間の整備について**



橋口 博文

質問 水引インターチェンジと高江インターチェンジ間を先に着手、一般交通車輛も、歩行者も自由に高江と水引間を行き来できるようにすることが効果が高いと思うが、どのように考えておられるか、用地協力や建設促進に向けた市の協力も大事だと思うが、どのように整備促進と先行着手につなげるおつもりか。

答弁 まず西回り自動車道の水引までの整備促進と川内港から水引のインターチェンジまでの道路整備が急務である。本市としても高江町のインターチェンジから水引のインターチェンジ間の整備を優先し、中でも川内川橋梁から着



工していただくよう意見を述べている。

### 薩摩川内市における若者のニートの雇用対策について



中島 由美子

**質問** 薩摩川内市においても都会のようにニートの状況になっている若者が出現してきている。そこで行政として雇用拡大や相談窓口など、ニートの状況になっている若者やその方々をかかえる保護者の方々に対し、救済対策を講じられないか。

**答弁** 市役所では嘱託や臨時職員募集を広報誌等でこなしている。積極的に応募して頂きたい。市有林の管理等、汗を流して働こうと意欲のある人は応募して頂きたい。

ハローワーク川内においても五月から若年層を対象にフリーターの相談を受けている。本市も消費生活相談、福祉の関係等の相談窓口もあり、利用していただきたい。

### 宮里公園の利活用について



今塩屋 裕一

**質問** 今回宮里公園内に、ラグビー場とサッカー場をつくる事になり、それによってもっと宮里公園の利活用を促進させる考えはないか。ラグビーで有名な神戸製鋼と太いパイプを持つ民間の方の力を借りて、官と民が一緒になって試合やイベントの計画を立ててはどうだろうか。行政側のバックアップもとても大事になってくるのではないか。



宮里公園

**答弁** 管民一体となって公園の利活用を図ることについては、スポーツ関係競技団体、薩摩川内市体育協会等とも連携を図りながら、市外、県外からも参加していただく大会等ができるような構想等をつくりあげていきたい。

ラグビー場、サッカーグラウンド完成後は、ホームページ等を利用して紹介して参りたい。

### 少子化対策についてファミリーサポートセンター設立に向けて進捗状況は



森永 靖子

**質問** 少子化対策として本市で地域全体で子育てを支援する体制づくりとして、地域の人材を活用して働く人々の仕事と家庭の両立支援や子育て支援を行う為のファミリーサポートセンター設立が当初の計画通り進んでいないのは何故か。事務センターの場所等が障害になっているのでは。早く拠点を決めて設置できないか。

**答弁** ファミリーサポートセンター設立については、次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の中で、早急に対応しなければならぬと考える。

場所については、設備の整っている庁舎南側の一階を利用し、一月にスタートできるように準備を進めたい。

### 旧大村高校跡地再利活用について



大田黒 博

**質問** ①周辺の地域住民は、温泉を活用した利活用について、心待ちにしておられるが、今後の方策はあるのか。  
②温泉水のポンプアップをして、地域住民に利用してもらう方策はえられないか。



旧大村高校跡地

**答弁** ①温泉を活用して、保健・福祉・医療面での施設の設備ができる企業に土地を処分したい。  
現在二社から申し出があるので条件があれば可能な限り早期に対応したい。

今後とも、地元のご意見を参考にしつつ、民間活力の導入、民間業者の誘致という方向で取り組んで参りたい。

## 常任委員会 報告

各委員会は、九月二十日から二十六日まで五日間開催され、それぞれ付託された議案の審査等を行い、主に次のような意見・要望が述べられました。

### 企画経済委員会

- ①地区コミュニティセンターに設置してあるモニターテレビについて、利用者の観点からテレビ放送やビデオテープの視聴等も可能となるよう検討されたい。
- ②モーモーフエスタ事業における川内牛の試食・販売が販路拡大につながる取組を検討されたい。
- ③自給飼料増産総合対策事業補助金については、申請時に事業計画等十分精査され、中途取下げがないよう指導されたい。
- ④農業公社で行う研修生受入事業の受講者に対しては、農業で生計を維持していきけるよう、品種改良による耕作手法の変化への対応策等も含めた的確な指導に努められたい。
- ⑤林道と民有地との筆界未定箇所

- ⑥甌海洋深層水の利活用について、甌漁業協同組合や下甌離島物産開発センターで多面的機能が發揮されるよう、具体的計画を示されたい。
- ⑦むらづくりや地域振興につながることから、土地改良区の予算について配慮されたい。
- ⑧甌海峡ウインドサーフィン横断レースについて、マスコミの協賛も得ながら更に盛況なイベントとなるよう全国に向けたPRに努められたい。
- ⑨破損しているバス待合施設については、景観上の観点からも設置者と協議し早急に整備されたい。
- ⑩川内港活用促進のため冷凍品目取扱荷主について調査を行い、リーファーコンテナを活用したコンテナ取扱数の増加につなげられたい。

### 市民福祉委員会

- ①保険の適用外である不妊治療は、多額の費用を要するため、少子化対策の観点から、治療費の補助について検討されたい。
- ②ラムサール条約の登録湿地候補地である蘭牟田池については、現在登録されている先進地を参考に、環境保全対策を講じるとともに、積極的にPRされたい。



蘭牟田池

### 建設水道委員会

- ①ごみの不法投棄防止を図るため、ごみの分別指導等の啓発を行い、環境美化に努められたい。
- ②南九州西回り自動車道川内隈之城道路の都町から水引町までの区間については、早期開通のためにも川内川橋梁建設の先行着手を引き続き国、県に働きかけられたい。
- ③市営住宅の悪質滞納者に対しては、引き続き厳正に対処されたい。
- ④市外からの定住促進の観点から周知広報に努められたい。
- ⑤工事等の発注においては、企業

育成が図られる方策を検討されたい。

### 総務文教委員会

- ①防火水槽の有蓋化事業について、今後も年次的に取り組まされたい。
- ②機関に設置している消火器の薬剤更新時に当該消火器を使つての消火訓練等の有効活用ができないか研究されたい。
- ③教職員が使用する校務用パソコンを年次的に整備するとともに、情報漏えい等のセキュリティ対策に万全を期されたい。
- ④学校遊具の定期的な点検を実施し、事故防止に努められたい。
- ⑤特別教室併用使用の解消に向け、実施計画に登載するなど年次的な整備を検討されたい。
- ⑥教職員住宅への防災対策に万全を期されたい。
- ⑦特認生を送り出す学校が追加されることなどを踏まえ、特認校制度の周知を図られたい。
- ⑧通学路における危険箇所の点検に際しては、歩行者となる子ども
- ⑨市政改革における幼稚園の民営化協議においては、教育委員会として保護者の意見を聴取するなど主体的に取り組まされたい。



- ⑩普通教室の室温調査を実施するとともに、冷水器の設置を検討するなど、夏場における子どもの健康対策に取り組みたい。
- ⑪歴史資料館の屋根改修に当たっては、使用されているシラス瓦の全面ふき替えを視野に入れ進められたい。
- ⑫少年自然の家における自然観察や野外活動において、利用者が蜂の被害等に遭わないよう今後も活動場所の点検を実施されたい。
- ⑬本市が有する体育施設の市民へ周知を図り、健康増進への機運を高められたい。
- ⑭学校給食における調理器具へのアスベスト使用については、今後の調査結果を踏まえ、早急かつ厳正な対応をされたい。
- ⑮民間委託となった川内地域における学校給食についても、よりよい給食となるよう指導を徹底されたい。

## 特別委員会 報告

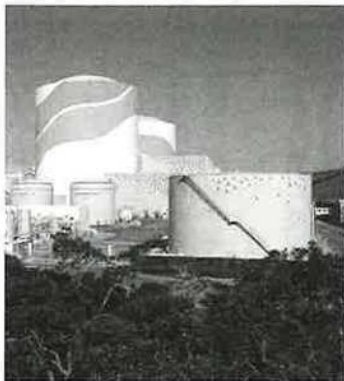
### 原子力発電所対策調査 特別委員会

八月九日開催の本特別委員会では、次の項目について審査を行った。

(1)川内原子力発電所一號機・二號機の運轉状況について

当局から、一號機は平成十六年十一月十六日に第十六回定期検査を終了し、二號機は平成十七年三月三日に第十五回定期検査を終了し、それぞれ通常運轉に復帰していること、また、気体・液体廃棄物の放出量は年間放出管理目標値を大きく下回り、平成十七年六月末現在の固体廃棄物貯蔵量は一一、六三一本（貯蔵容量の約六十八％）及び使用済燃料の保管量は一、三九七体（貯蔵容量の約五十九％）であるとの報告を受けた。

その後、定格熱出力一定運轉、固体廃棄物貯蔵庫への立入調査の状況について質疑を行った。



川内原子力発電所

なお、審査の過程において、今後、固体廃棄物の保管状況についても定期的に立入調査を行い、安

全を確認されたい旨の意見が述べられた。

(2)川内原子力発電所に関連する諸問題について

当局から、実施されている環境調査の進捗状況等として、地質調査がボーリング本数七十三本が完了するなど進捗率五十三・六％であり、気象調査についてはデータ整理解析中で進捗率五十三・三％、環境影響評価については方法書作成中で、進捗率十四・六％であるとの報告・説明を受けた。

その後、調査がスケジュールどおりの進捗かどうか、温排水と焼却現象の相関等について質疑があり、当局から、環境影響評価の方法書作成が順調に進んでいること、焼却現象の原因についてはウニによる食害が疑われており駆除を実施しているとの答弁があった。

次に、前々回の本特別委員会において回答保留していた以下の四項目について答弁があった。

①平成十八年度以降の使用済燃料の搬出計画については、現在、六ヶ所村の再処理施設の受入れが中止されているが、今後、再処理施設の受入計画、川内原子力発電所及び玄海原子力発電所の保管状況を勘案の上、策定されること。

②出水断層は、長さ十キロメートル

の内木場断層を最長とする複数の断層から形成されていること。

③海面から取水口上部までの高さは、干潮時において約六・五メートルであること。

④川内原子力発電所のほか中国電力(株)島根原子力発電所を始め四原子力発電所において、取水する海水に対し塩素を注入していること。以上の報告の後、出水断層の具体的な位置等について質疑を行った。

次に、本特別委員会が要請したヨウ素剤の原物が提出され、服用できない既往症等について質疑を行った。

なお、審査の過程において、原子力防災訓練でヨウ素剤の搬送訓練のみ実施しているが、医師の問診を行うなどヨウ素剤服用の訓練も追加するとともに、服用時期についても再検討されたい旨の意見が述べられた。



原子力防災訓練



次に、八月三十一日開催の本特別委員会では、川内原子力発電所に関する諸問題として、九州電力(株)から送付のあった環境影響評価方法書に関し審査を行った。

まず、審査するに当たり、環境調査の実施が川内原子力発電所3号機の増設と切り離して同意された経緯を踏まえ、本特別委員会における環境調査に係る審査についても、川内原子力発電所3号機の増設の可否とは切り離し、調査の内容そのものに主眼を置いて審査していくとの意見の集約を行った。

次に、当局から、環境影響評価制度の流れと環境影響評価方法書に係る手続きについて説明を受け、その後、環境影響評価の実施主体等について質疑を行った。

次に、協議会を開催し、九州電力(株)川内調査所次長から、環境影響評価方法書の概要について説明を受け、その後、インターネットを利用した縦覧方法、環境影響評価における環境保全目標の数値等について質疑を行った。

**交通運輸対策調査  
特別委員会**

八月二十三日開催の本特別委員会では、次の項目について審査を行った。

(1)川内港の港湾計画及び利用促進について

当局から、川内港の整備計画の平成十七年度事業の進捗状況、コンテナ貨物の取扱実績、「薩摩川内港ポートセミナー二〇〇五」の開催及び「薩摩川内港鹿兒島谷山コテナ・フレート・ステーション」の開所等の報告・説明を受けた。

また、甌島航路については七月二十二日に九州運輸局鹿兒島運輸支局と航路に関する協議を行ったこと及び八月三十一日に九州商船(株)と再度協議を行うこと、川内川舟運についてはこれまでの調査・検討の内容及び成果等について報告・説明を受けた。その後、甌島航路の夏季臨時ダイヤの設定、甌島住民に対するアンケート調査等の実施、舟運事業で想定する船舶の規模等について質疑を行った。

なお、審査の過程において述べられた意見・要望の概要は、次のとおりである。

①川内港コンテナヤードにリーフアーコンセントが設置され冷凍品目の取扱いが可能となることから、早急にその周知を図り集荷に取り組まれない。

②甌島航路について、川内港からの客船直行便の就航を検討された。

③お盆の帰省客等が容易に乗船券

を購入できるように、臨時ダイヤの設定について協議されたい。

④甌島住民の意向を把握するため、甌島航路に関するアンケート調査を早急に実施されたい。

⑤市民の利便性向上等を第一に考えた甌島航路開設を九州商船(株)に要望されたい。

⑥川内港から市街地までのアクセス道路として利用可能な路線を検討されたい。

(2)九州新幹線整備促進、肥薩おれんじ鉄道について

当局から、九州新幹線の整備進捗状況及び影響調査における日照障害の対象農地、補償対象者、補償方法等について報告・説明を受けた。また、肥薩おれんじ鉄道については六月十四日に鹿兒島県肥薩おれんじ鉄道利用促進協議会幹事会が、同月二十八日に定時株主総会がそれぞれ開催されたこと等の報告・説明を受けた。その後、影響調査後の補償対象農地、新幹線高架橋下の利活用等について質疑を行った。

なお、審査の過程において述べられた意見・要望の概要は、次のとおりである。

①日照障害対象農地の総面積及び反当たりの補償額について、調査し報告されたい。

②九州新幹線・肥薩おれんじ鉄道

への乗り継ぎや甌島への交通手段でもある川内駅・串木野駅間のJR在来線ダイヤについて、従来の運行本数が確保されるよう要望されたい。



川内駅

③肥薩おれんじ鉄道の運営について、経営安定策等今後の事業見通しを示しながら取り組まれない。

④肥薩おれんじ鉄道の踏切改修等に当たっては、JR貨物に対する工事負担金の要求も検討されたい。

⑤肥薩おれんじ鉄道について、1便当たりの採算に見合う乗客数を調査・把握されたい。

(3)南九州西回り自動車道について  
当局から、整備の進捗状況として川内道路・川内隈之城道路の現状、都市計画道路阿久根川内線(川内隈之城道路)の今後の計画、



昭和通線・駅前平佐線・(仮称)宮崎バイパスの事業進捗等の報告・説明を受け、その後、質疑を行った。

(4) 甌島縦貫道について

当局から、蘭牟田瀬戸架橋を含む甌島縦貫道の整備状況について、手打トンネル等の事業進捗、今回初めて国への鹿児島県離島振興協議会等の要望項目として掲載された蘭牟田瀬戸架橋に係る要望内容等について報告・説明を受けた。

その後、蘭牟田瀬戸架橋実現に向けた決起集会、国に対する要望時の回答等について質疑を行った。

なお、審査の過程において、「甌島は一つ」等のスローガンを決定し、早い時期に蘭牟田瀬戸架橋実現に向けた決起集会を実施された旨の意見が述べられた。

(5) バス運輸事業について

当局から、バス交通網について、六月二十日にコンサルタントとの事前協議、八月二日に交通アドバイザー会議の開催及び公共交通網整備推進事業の調査スケジュールの報告・説明を受けた。その後、イベント開催時における臨時バスの運行、高齢者等に対するバス運賃補助等について質疑を行った。

なお、審査の過程において、コミュニティバスの新路線の検討に当たっては、イベント時の臨時バ

ス運行も検討するとともに、早期運行に向け努力されたい旨の意見が述べられた。

都市基盤整備対策調査  
特別委員会

八月十一日開催の本特別委員会では、次の項目について審査を行った。

(1) 川内川市街部改修の促進について

当局から、川内川市街部改修の促進についての主要経過として、平成十七年五月三十一日に川内市街部改修促進期成会総会が開催され、七月十五日には川内川河川事務所、二十日には九州地方整備局に川内市街部改修事業の推進に関する要望活動をそれぞれ行ったこと、また、六月十三日に川内川下流改修促進期成会総会が開催され、七月二十九日に川内川河川事務所、大口市、さつま町、湧水町及びえびの市と合同で川内川改修事業の推進に関する要望活動を行ったこと、築堤工事の進捗状況等として、平成十六年度事業の瀬口地区上水流樋管工事が完了したこと及び本年度事業のうち天辰地区香田樋門改築工事が発注されたこと、報告・説明を受けた。

次に、天大橋下流の改修計画に

ついての主要経過として、都市計画道路中郷五代線整備事業に係るコスト縮減の検討業務発注を八月下旬に予定しているとの報告・説明を受け、その後、中郷五代線を始め、川内市街部改修に係る道路整備等について質疑を行った。

なお、審査の過程において、川内市街部改修に係る道路整備については、国道三号等周辺道路の交通事情を十分考慮されたい旨の意見が述べられた。



国道3号

(2) 土地区画整理事業による都市基盤の整備について

当局から、天辰第一地区土地区画整理事業の主要経過として、平成十七年七月四日に国と香田樋門改築及び向田天辰線道路函渠受託合併工事を一億一千四十四万一千七百七十四円の負担で受託合併契約

を締結し、香田樋門改築については、平成十七年度から平成十九年度までの三カ年で終了予定であるとの報告・説明を受け、その後、平成十六年度から繰り越された事業の執行状況及び今後の事業計画等について質疑を行った。

なお、審査の過程において述べられた意見・要望の概要は、次のとおりである。

①当初予算で計上された事業については、年度内に完了されるよう努められたい。

②発注される工事規模、工期等の設定については、受注業者への配慮も考慮されたい。

次に、川内駅周辺地区土地区画整理事業の主要経過として、現在、旧川内西中学校跡地付近の都市計画道路及び区画道路工事、平成通線予定地付近の一次造成工事等を実施しているとの報告・説明を受け、その後、今後の事業計画について質疑を行った。

次に、入来温泉場地区土地区画整理事業の主要経過として、五月二十六日並びに六月十四日及び十五日に事業区域内住民等に対し、温泉場土地区画整理事業説明会を開催し、施行区域の都市計画道路網等の事業概要、これまでの事業経緯及び主要経過、旧入来町及び本市の財政状況等を説明したこと、



また、県内土木事務所から一級河川釣尾川の整備計画等について説明がなされたこと、温泉場土地区画整理事業検討業務を平成十七年六月二十四日から平成十八年二月二十八日までの工期で財団法人鹿児島県土地区画整理協会に委託発注したこと等の報告・説明を受け、その後、今後のアゼロ湯及び柴垣湯の移転計画の見直し等について質疑を行った。



アゼロ湯

**地域振興対策調査  
特別委員会**

八月十一日開催の本特別委員会では、次の項目について審査を行った。

当局から、薩摩川内市甑島ブルー・ツーリズム推進事業計画策定業務の内容（甑島ブルー・ツーリズム推進事業企画開発事業、モニター旅行制度導入事業、甑島観光パンフレット作成、ワークシヨップ等）について説明・報告を受け、モニター旅行の実施時期及びブルー、事業の継続性、実施結果の検証等について質疑を行った。

次に、甑島の観光振興として、甑島観光施設の利用客数、シーホーク・フェリーニューこしきの利用客数等について報告・説明を受け、甑ファミリーフィッシングカッパ時の宿泊者の感想、指定管理者制度の導入を予定している甑島館等の宿泊施設に対する照会件数、甑島の宿泊施設のサービス水準等について質疑を行った。

更に、甑島の水産振興として、漁獲高及び水産加工品の状況、主な出荷先、甑島水産振興の取組と振興計画、甑島各支所別水産振興の取組と効果、主な県事業としての実施状況等の報告・説明を受け、漁獲高が年々減少してきている要因等について質疑を行った。

なお、審査の過程において述べられた意見・要望の概要は、次のとおりである。

①ブルー・ツーリズム推進事業の計画策定に当たっては、地域の意

見も踏まえ、甑島の自然、景観、歴史、文化等に配慮されたい。  
 ②観光パンフレット五万部については、旧四村のパンフレットも検証の上、四季を通じた内容にされたい。  
 ③特定離島ふるさとおこし推進事業等を活用し、次年度以降の事業も検討されたい。  
 ④地域の海域に精通した漁業関係者の協力も得て、甑島の観光PRに努めるとともに、観光船、キャンプ場等のPRもされたい。  
 ⑤甑島の宿泊施設について、施設の整備とサービス水準の向上に努め、集客を図られたい。



甑島館

⑥甑島漁業再生支援交付金制度の内容について、地域住民が理解できるように説明し、統一的に効果が現れるよう指導されたい。

⑦甑島水産業の振興については、魅力ある漁業の推進と人材育成に力を注ぎ、今後のビジョンを計画されるとともに、後継者育成に対する取組も検討されたい。  
 ⑧先細りとなつている養殖事業の拡大を図るため、新たなマグロ養殖のための人材育成等への支援を充実されたい。

**甑4町はゆゆどころ!!**

魚が美味しく  
 空気が澄んだ  
 人情味あふれる

甑島へ、ぜひ、一度お越し下さい。



## 平成17年第3回定例会付議事件

議案番号	件名
議案第210号	鹿児島県市町村自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について
議案第211号	鹿児島県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村職員退職手当組合同約の変更について
議案第212号	鹿児島県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村職員退職手当組合同約の変更について
議案第213号	鹿児島県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村職員退職手当組合同約の変更について
議案第214号	鹿児島県市町村非常勤職員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村非常勤職員公務災害補償等組合同約の変更について
議案第215号	鹿児島県市町村非常勤職員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村非常勤職員公務災害補償等組合同約の変更について
議案第216号	鹿児島県市町村非常勤職員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村非常勤職員公務災害補償等組合同約の変更について
議案第217号	鹿児島県市町村議会議員公務災害補償等組合同約の変更について
議案第218号	鹿児島県市町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村議会議員公務災害補償等組合同約の変更について
議案第219号	鹿児島県市町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村議会議員公務災害補償等組合同約の変更について
議案第220号	鹿児島県市町村交通災害共済組合同約の変更について
議案第221号	鹿児島県市町村交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村交通災害共済組合同約の変更について
議案第222号	鹿児島県市町村交通災害共済組合の財産処分について
議案第223号	鹿児島県市町村交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の減少及び鹿児島県市町村交通災害共済組合同約の変更について
議案第224号	薩摩川内市個人情報保護条例の制定について
議案第225号	薩摩川内市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例の制定について
議案第226号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
議案第227号	薩摩川内市長期継続契約を締結することができる契約を定める条例の制定について
議案第228号	外国語指導助手に対する報酬等の支給に関する条例及び樋脇町招致外国青年に対する報酬等の支給に関する条例を廃止する条例の制定について
議案第229号	薩摩川内市公民館条例の一部を改正する条例の制定について
議案第230号	薩摩川内市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について



議案番号	件名
議案第231号	薩摩川内市八重集会所条例を廃止する条例の制定について
議案第232号	薩摩川内市楠元駅鉄道記念館条例を廃止する条例の制定について
議案第233号	薩摩川内市安全・安心まちづくり条例の制定について
議案第234号	薩摩川内市へき地保育所条例の一部を改正する条例の制定について
議案第235号	薩摩川内市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について
議案第236号	薩摩川内市普通公園条例の一部を改正する条例の制定について
議案第237号	市道路線の認定について
議案第238号	薩摩川内市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
議案第239号	薩摩川内市一般住宅条例の一部を改正する条例の制定について
議案第240号	薩摩川内市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第258号	高来小学校屋内運動場新增改築（建築本体）工事請負契約の締結について
議案第282号	教育委員会委員の任命について
議案第283号	人権擁護委員候補者の推薦について

（上記の外、平成17年度薩摩川内市一般会計補正予算ほか17特別会計補正予算等を可決しました。）

薩摩川内市議会だよりについて市政モニター99人に対し、アンケート調査を行い、以下のような結果となりました。

問1 「薩摩川内市議会だより」をご覧になったことがありますか。

- 1 ある 83人
- 2 ない 4人

問2 ご覧になる方へ

- 1 すべてのページを読む 30人
- 2 関心のあるところだけ読む 51人

問3 すべてのページを読まれる方にお聞きしますが、一番興味のあるコーナーを一つお選びください。

- 1 表紙 2人
- 2 一般質問 26人
- 3 常任委員会報告 5人
- 4 提案・可決された議案 13人

問4 議会の広報紙「薩摩川内市議会だより」について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- 全体的に固いイメージが強い。
- 読むと勉強になるが、活字ばかりで読む気が失せる。
- 市議会を身近に感じられない。

※ 他にもいろんなご意見をいただきありがとうございました。上記のような、ご指摘がありましたので、今回議会だより編集委員会で、検討し、一部見直しをしてみました。





甌大明神マラソン

## 議会のうごき

- 10月3日 介護保険組合議会定例議会
  - 4日～6日 総務文教委員会所管事務調査(甌地域)
  - 14日 地域振興対策調査特別委員会
  - 18日～21日 行政視察(建設水道委員会・総務文教委員会)
  - 24日 交通運輸対策調査特別委員会
  - 25日～28日 行政視察(企画経済委員会・市民福祉委員会)
  - 11月7日 議会運営委員会
  - 8日～14日 決算審査特別委員会
  - 17日 原子力発電所対策調査特別委員会
  - 18日 決算審査特別委員会(まとめ)
  - 〃 議会運営委員会
  - 24日 都市基盤整備対策調査特別委員会
  - 25日 総務文教委員会
  - 12月1日 本会議
  - 8日 本会議(一般質問)
  - 9日 本会議(一般質問)
  - 12日 本会議(一般質問)
  - 14日 企画経済委員会
  - 15日 市民福祉委員会
  - 16日 建設水道委員会
  - 19日 総務文教委員会
  - 20日 総務文教委員会
  - 26日 本会議
- (※12月以降は予定です。)



**12月定例会は12月1日から、一般質問は12月8・9・12日の予定です。**  
 市議会は、原則、どなたでも傍聴できます。傍聴席は市役所の4階にありますので、入口の受付簿に住所、氏名を記入してお入りください。

## 陳情の処理状況

陳情番号	件名	結果
陳情第9号	ILO第175号条約及びILO第111号条約の早期批准を求める陳情書	不採択
陳情第10号	歴史的遺産である市比野温泉上等湯(旧上之湯)公衆浴場復活を求める陳情書	不採択
陳情第12号	甘しょ・でん粉政策・価格に関する陳情書	採択

## 意見書

次の意見書を可決し、関係行政庁に提出しました。

件名
1. 甘しょ・でん粉政策・価格に関する意見書